

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市男女共同参画センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
	82	A

H26実績			
指定管理料	45,767 千円	(前年度比)	(5,932 千円)
利用者数	55,437 人	(前年度比)	(△ 4,183 人)

サービス向上対策	
内容	新規
館内の案内表示を利用者に見やすいものに更新した。	○
利用者の利便性向上のため、館内の土足化を実施した。	○
女性相談の回数を増やして、相談事業を充実させた。	

評価概要
<p>事業計画書に則した自主事業及び受託事業を適切に実施しており、サービスの向上に努めている。施設の稼働率は77.2%と高水準を維持している。自主事業では、タウン誌やフリーペーパーなど幅広い手段で講座申込者の拡大を図っている。また、男女共同参画フェスティバルにおいては、参加者が昨年度を大きく上回り、市民に対して男女共同参画意識の啓発が図られた。</p> <p>今後も、男女共同参画推進の拠点施設として、利用者の利便性向上に努めるとともに、講座受講者数を増加させるため魅力ある講座を実施するなどの事業展開が求められる。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市労働福祉会館
施設区分	b. 貸館施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 75	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	28,442 千円	(前年度比)	(3,279 千円)
利用者数	133,730 人	(前年度比)	(△ 537 人)

サービス向上対策	
内 容	新規
催し物の会場を分かりやすくするため、貸室状況案内板を見やすくし、ホールの目立つ場所に移設した。	○
会館内の各室等への案内の充実を図るため、床面に矢印等の表示を施した。	○
正面玄関にAED設置を示すステッカーを表示したほか、各室にAED設置箇所のMAPを配置した。	○

評価概要
施設の案内表示を見やすくしたり、貸室状況を示す案内板をホールの中心に移動するなど、利便性の向上に努めており、良好な施設の管理運営が行われた。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山地域職業訓練センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 72	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	29,761 千円	(前年度比)	(3,331 千円)
利用者数	17,349 人	(前年度比)	(△ 130 人)

サービス向上対策	
内 容	新規
利用者が利用しやすいよう、色や大きさを統一した館内案内及び表示板を新たに設置した。	○
AEDの設置施設であることを示すステッカーを出入口に表示し、周辺通行者等への周知を図った。	○
利用者の防火意識向上のためのアンケート調査を実施した。	○

評価概要
施設の案内表示を見やすくし、利便性の向上に努めている。また、利用者へ防火意識向上のためのアンケート調査を実施するなど安全体制の強化に取り組んでおり、良好な施設の管理運営が行われた。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市民文化センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市民文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 79	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	255,947 千円	(前年度比)	(32,882 千円)
利用者数	419,875 人	(前年度比)	(15,438 人)

サービス向上対策		新規
内容		
公衆電話の撤去に伴い、施設利用者がタクシー呼び出し等の連絡が出来なくなったため、事務所での電話利用の対応を行った。		
広く郡山市民文化センターの情報を発信するため、郡山市民文化センター公式facebookを継続した。		
利用者が館内での現在位置、利用施設の場所が容易にわかるようにするため、案内表示等の見直しを行い、南口・西口、エレベーター内、各階に施設の案内表示を新設した。		○

評価概要
<p>公衆電話の撤去に伴い、事務所での電話利用の対応を行ったり、館内の案内表示板を新設し、利便性向上に努めたことが評価できる。</p> <p>また、目の不自由な方や車イスの方が来館したときなどは、積極的に座席まで案内するなど介添えを行った。危機管理の点では避難訓練のほか、自衛消防操法大会へ参加するなどの取り組みを行っている。</p> <p>広報、PR活動については各種団体の方への周知活動や折込チラシの発送など行ったが、その効果を確認することが難しかったため、どのような広報活動が効果的なのか検討し、さらに充実させていくことが必要であると思われる。</p> <p>また、自主事業の企画をする上で、より効果的な事業を選ぶなど、事業収入の向上に努める必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	こおりやま文学の森資料館（郡山市文学資料館・久米正雄記念館）
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 84	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	74,966 千円	（前年度比）	（ 14,245 千円）
利用者数	12,477 人	（前年度比）	（ 96 人）

サービス向上対策	
内容	新規
家族連れや若い世代の来館者の要望に応じて、夏休み期間に合わせて、市民文化センターで人気作家の絵本原画展を開催した。	○
資料館に足を運ぶ機会のなかった市民や児童・生徒のため、公民館や小中学校を会場に文学資料の出張展示を行った。	○
団体だけでなく個人で来館された場合でも、希望に応じて随時展示の解説を行った。	

評価概要
<p>今まで資料館を利用する機会のなかった方にも事業への関心を持ってもらうため、公民館や小中学校を会場とした出張展示を行ったり、特別企画展として人気絵本作家の原画展を文化センターで開催したりするなど、新たな試みに取り組んでいる。</p> <p>また、個人への展示物の解説など来館者への懇切丁寧な対応は、文学講座や文学散歩など展示以外の事業への参加者増やリピーター獲得につながることで評価できる。</p> <p>今後は、特別企画展以外の期間においても、より集客が見込めるよう継続事業についても見直しを行い、事業内容の充実を図る必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市ふれあい科学館
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 79	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	293,071 千円	(前年度比)	(12,271 千円)
利用者数	323,083 人	(前年度比)	(△ 14,176 人)

サービス向上対策	
内容	新規
Facebookを新設し、イベント情報などの発信を開始した。	○
ふくやま夢花火を最期まで鑑賞したいとの要望に応えるため、22階ロビーの開館時間を1時間延長し、21時までとした。	○
00の一つであり、国が推進している「やさしい日本語の取組み」を参考に「郡山市ふれあい科学館のあるところ」のページをウェブサイト追加した。	○

評価概要
<p>科学館全体の利用者数および利用料金等収入については昨年に引続き減少しているが、広報活動や営業を積極的に行っており、県外からの来館者が戻りつつある。各自主事業でも、企業研究所や大学との連携で魅力ある事業を展開しており、参加者実績数は計画数を上回っている。また、独自のアンケートを行い、指摘等があれば情報をスタッフ全員で共有し改善に向け迅速に対応するなど、サービス向上に努めている。</p> <p>開館15周年を迎えるにあたり、教育施設としての科学館の役割と、駅前・まちなか活性化の一端を担う役割を引続き果たしていくために、有識者等により科学館の方向性や展示物等の在り方を検討する必要があると考えられる。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	大安場史跡公園
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 81	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	84,981 千円	(前年度比)	(10,690 千円)
利用者数	44,448 人	(前年度比)	(240 人)

サービス向上対策	
内容	新規
田村町地区の社寺等と連携し、田村町地区の遺跡や社寺等を題材とした企画展を実施した。	○
田村町大善寺地区の遺跡や社寺等を巡る「歴史ウォーク」を実施し、地域の文化財や歴史に対する関心を向上させることができた。	
市民からの意見を取り入れ、事業の開催時刻を午前から午後へ変更し、市民が参加しやすいようにした。	

評価概要
平成26年度においても、田村町大善寺地区の町内会の協力を得ながら、遺跡や社寺等を巡る「歴史ウォーク」や古墳の発掘調査を実施し、地域の文化財や歴史に対する関心を向上させることができた。また、田村町の遺跡に関する企画展を実施することで、地元の遺跡に対する関心を向上させ、利用者に対して「郷土の再発見」が図られるように努めたことは評価できる。平成25年度に比べ入館者数は若干増加しているものの、事業収入については減少しており、また、開館初年度（平成21年度）や2年目（平成22年度）に比べるとどちらも減少していることから、今後も継続して入館者を維持し、リピーター・団体利用者を確保するために事業内容の工夫と改善、さらなる周知が必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山カルチャーパーク
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市観光交流振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 88	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	187,305 千円	(前年度比)	(101,583 千円)
利用者数	965,407 人	(前年度比)	(114,485 人)

サービス向上対策	
内容	新規
GW、夏休み期間の供用時間の延長及び、夏休み期間を休まず営業。	
フリーパスの発行	

評価概要
GW、夏休み期間の供用時間の延長及び夏休み期間を休まず営業することで、利用者の利便性が向上し、サービスの向上が図られた。今後の課題として、更なる施設利用者のニーズに合った新規事業を展開して、施設の広告・PRを行うためにダイレクトメール等を活用することで、施設利用者の増加を図る必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	21世紀記念公園
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市観光交流振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 83	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	68,625 千円	(前年度比)	(19,876 千円)
利用者数	16,021 人	(前年度比)	(△ 1,416 人)

サービス向上対策	
内容	新規
ふれあいホールを年間を通して市民へ解放の場を提供し、発表会・作品展示の場として提供している。	
安積野広場にモデル庭を作成し、新築記念樹を植え、申請者の参考になるように図った。	
町内会の緑化活動支援のため、球根を無料配布した。	

評価概要
ふれあいホールを年間を通して市民へ解放の場を提供し、発表会・作品展示の場として提供することで、サービス向上に対する積極的な姿勢が見受けられた。今後の課題として、更なる施設利用者のニーズに合った新規事業を展開して、施設の広告・PRを行うためにダイレクトメール等を活用することで、施設利用者の増加を図る必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市畜産振興センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市観光交流振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 75	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	80,724 千円	(前年度比)	(22,914 千円)
利用者数	97,781 人	(前年度比)	(△ 7,152 人)

サービス向上対策	
内容	新規
毎月第2・4日曜日及びイベント時に無料で乳搾り体験を実施した。	
7月22日（火）から8月19日（火）の夏休み期間中は休まず営業を実施した。	
独自に施設的环境放射線モニタリング調査を実施した。	

評価概要
事業計画に基づき管理運営及び自主事業が実施され、育成放牧事業については、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、平成24・25年度は実施できなかったが、平成26年度より事業再開した。また、牧場利用者数は原子力発電所事故以前の水準にまで戻りつつあり、風評払拭及びPR活動等の成果だと評価できる。また、収支状況や施設管理においても適正な運営が行われたと認められる。今後は、育成放牧事業の通年での実施等、畜産振興への取り組みの強化とチーズなどの新たな製品の開発等により、郡山石筴ふれあい牧場のブランドイメージを向上させ、更なる利用促進に努めることが必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市福祉センター
施設区分	b. 貸館施設
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 79	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	47,682 千円	(前年度比)	(8,096 千円)
利用者数	19,642 人	(前年度比)	(132 人)

サービス向上対策	
内容	新規
館内及び周辺施設の案内略図等を掲示した。	
飲料水自動販売機の横にペットボトルキャップの回収ボックスを設置し、利用者にエコキャップ運動への協力を呼びかけた。	

評価概要
<p>効率的な人員配置や委託業務における複数年契約等、経費節減をはじめ積極的な経営改善に取り組まれており評価できる。また、法定保守点検以外の点検も積極的に行う等、安全対策にも取り組まれている。</p> <p>貸館については、案内略図や案内板を設置する等、施設を使用する市民への配慮が見受けられ、また、郡山市公共施設予約案内システムを活用しインターネット予約を開始する等、サービスの向上に努めている。</p> <p>今後においては、より一層市民に配慮した効率的な貸館業務への取組みや、適正な管理運営体制を整備するとともに、稼働率向上のための対策が求められる。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	中央老人福祉センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 72	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	21,078 千円	(前年度比)	(2,233 千円)
利用者数	64,159 人	(前年度比)	(4,121 人)

サービス向上対策	
内 容	新規
浴室入り口の足下に、蛍光色のテープを貼り段差を認識しやすいようにした。	○
エレベーター前の壁に案内図を貼り、貸室利用者にわかりやすいようにした。	○
受付窓口に手荷物を置くための台を設置した。	○

評価概要
<p>市民からの意見が多い施設ではあるが丁寧に対応し、法律等も遵守し適切な施設管理が行われている。市民講座では、受講者にアンケートを取り次年度の講座選択に市民の要望を取る等の工夫をし、多くの参加者を集めている。また、今年度は利用者目線に立ったカイゼンを行ったこともあり、昨年度より利用者が増えている。</p> <p>引き続き、市民シニア講座や機能回復訓練等、老人福祉センターとしての機能を果たしていくため、利用者にニーズを捉え、趣味、教養、健康増進の場を提供していくことが必要である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	中央デイ・サービスセンター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 82	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	10,542 千円	(前年度比)	(5,654 千円)
利用者数	4,348 人	(前年度比)	(△ 577 人)

サービス向上対策	
内容	新規
行事食の実施し、季節を感じてもらった。	
敬老大運動会を行い、利用者同士の団結を深めた。	
菖蒲湯、ゆず湯を実施した。	

評価概要
<p>管理運営については、大きな問題もなく適切に行われていると考えられる。学生を実習生として受け入れたり、ボランティアによる音楽鑑賞会等を催したりと外部の人との交流を図るイベントが多く、サービスの向上に取り組んでいると言える。</p> <p>しかし、利用者人数については計画数を超えられず、収入にも影響がある。市のホームページで利用状況を公開したり、各居宅・予防支援事業所を訪問し新規利用者の紹介をお願いしたりしているが、今後も引き続き新規利用者獲得に努めていく必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市母子・父子福祉センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	社会福祉法人 郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
	76	A

H26実績			
指定管理料	11,764 千円	(前年度比)	(4,575 千円)
利用者数	11,410 人	(前年度比)	(166 人)

サービス向上対策	
内容	新規
利用者が参加しやすいよう午後6時半から夜間講座を開設している。	
新規の方や父子家庭の方も参加しやすいようなチラシ作成を行なっている。	
参加者同士の交流・情報交換の場となるような講座の運営を心がけている。	

評価概要
母子・父子福祉センターは、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に規定する福祉施設として、事業計画書に基づき、相談事業や技能習得・教養講座の開催、ボランティア活動の支援、福祉団体等への貸室業務を適正に行なっている。 施設の管理運営においても、緊急時対応マニュアルや個人情報の取り扱い等適正であり、仕様書に基づいてなされてあった。 例年の「利用者アンケート」でも利用者から高い評価を得ており、今後は新規の利用者獲得及びひとり親の経済的自立のためのより一層の事業の充実が必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市花かつみ豊心園
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 68	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	46,133 千円	(前年度比)	(11,484 千円)
利用者数	26,874 人	(前年度比)	(182 人)

サービス向上対策	
内容	新規
毎月開催される運営委員会において、利用者からの苦情解決や要望等の職員全員へ周知。	○
毎月利用者の集いを開催し、利用者の要望を聞く機会を設けることで、行事の内容に反映させた。	○
利用者及びその家族と個別面談を行った際に、施設に対する要望や苦情を聞く機会を設けた。	○

評価概要
障害者入所支援施設である当施設は、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、そのサービス内容は、日常生活における全ての分野にわたるものであり、利用者一人一人の援助内容が異なることを認識し、支援マニュアルに沿った適切な支援を行っている。施設整備については、消防計画に基づき毎月避難訓練を実施し、また、園内外の危険場所、危険物の点検を行い、利用者の安全の確保に努めている。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、施設整備を含め、利用者の人権擁護に対する意識を深め、利用者の高齢化も視野に入れたより良いサービスを提供できるよう指導を続ける。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市緑豊園
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 86	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	4,525 千円	(前年度比)	(3,263 千円)
利用者数	6,557 人	(前年度比)	(43 人)

サービス向上対策	
内容	新規
保護者との連絡や園生活の情報提供として、連絡帳を作成し活用することで情報共有を図った。	○
就労支援セミナーへ参加し、就職に必要な訓練を学び、就労面接会にも参加した。	○
毎日、朝礼時に職員行動規範を復唱することで、利用者が安心して利用できる心の環境づくりを行った。	○

評価概要
就労継続支援B型事業所である当施設は、公益性及び普遍性を重視し、広域的な送迎バスの運行や知的障害区分に関わらず広く希望者の受入に努め、生産活動の機会の提供や就労に必要な知識及び能力の向上の訓練をしている。また、利用者の対応については、利用者と保護者の考えを基本に個別支援計画を策定し、支援経過及び実施結果に基づくサービス内容の説明に心がけるとともに、適切なサービス提供に努めている。施設において事故等対応マニュアルの作成及び周知により、緊急時における職員の対応意識の向上に努めている。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、施設整備を含め、利用者の人権擁護に対する意識を深め、より良いサービスを提供できるよう指導を続ける。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市更生園
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 75	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	0 千円	（前年度比）	（ 0 千円）
利用者数	7,280 人	（前年度比）	（ 31 人）

サービス向上対策	
内 容	新規
自閉症対策として写真入りのスケジュール表を作成し、事前に保護者に渡して当日の利用をスムーズに行えるようにした。	○
逢瀬町の畑を借用してさつま芋を栽培することで、利用者の精神安定を図るとともに収穫の喜びを味わった。	○
利用者が興奮して割ったガラス戸に対し、アクリル板で交換修繕することで、再度の破損防止と安全確保を図った。	○

評価概要
生活介護事業所である当施設は、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、生産活動の機会の提供や日常生活上の支援を行っている。他施設の視察や外部研修への積極的な参加により職員個々の能力向上を図った。また、施設において職員倫理綱領・行動規範の作成及び周知により、職員の利用者に対する人権意識の向上に努めている。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、施設整備を含め、利用者の人権擁護に対する意識を深め、施設利用者の拡充及びより良いサービスを提供できるよう指導を続ける。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市障害者福祉センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 80	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	25,542 千円	(前年度比)	(1,957 千円)
利用者数	37,917 人	(前年度比)	(△ 764 人)

サービス向上対策	
内容	新規
冬場の足もとの冷えを抑えるため、空気循環器を無料で貸し出しを行った。	○
毎朝職員の手話研修により、聴覚障がい者と手話で応対ができるよう簡単な挨拶ができるように改善した。	○
窓口に呼び鈴を設置し、事務所内の職員を気軽に呼べるように改善した。	○

評価概要
障害者福祉センターは、事業実施計画に基づき利用者の声に耳を傾けながら、障がいのある方の自立と社会参加の促進、生活の質の向上及び身体機能の維持・向上が図られるよう各種講座等の事業を実施している。常に施設・設備の状態には気をつけ利用者の安全が図られるよう施設の維持・運営に努めている。さらには、貸館業務を通じて、地域福祉及び福祉教育等の拠点として大きな成果をあげている。また、リスクマネジメントなど障がい者福祉の状況に対応できるよう研修などで知識・技能の研鑽に励んでいる。当市の障がい者がおかれている状況や問題を捉え、センターが持っている機能やネットワーク、情報を生かしながらより良いサービスを提供できるよう指導を続ける。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	湖南デイ・サービスセンター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 82	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	15,613 千円	(前年度比)	(5,984 千円)
利用者数	5,260 人	(前年度比)	(387 人)

サービス向上対策	
内容	新規
敬老会、新年を祝う会にてひよっこ踊りを披露した。	
利用者及び支援事業所への広報誌を発行した。	
昼食前の口腔体操の実施した。	

評価概要
管理運営については、大きな問題もなく適切に行われていると考えられる。昼食前の口腔体操の実施や、ペダルこぎ運動を奨励等利用者の健康面に配慮したサービスを多く取り入れ心身機能の維持向上に力を入れている。また、地域の文化祭へ利用者の作品を出展するなど地域との関わりを深めたり、施設の広報誌を作成し施設をPRしたりしながら、新規利用者の獲得に努めている。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	富久山デイ・サービスセンター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 83	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	11,472 千円	(前年度比)	(1,974 千円)
利用者数	5,693 人	(前年度比)	(306 人)

サービス向上対策	
内容	新規
園芸療法を導入した。	
給食サービスを充実させた。（残量チェック、管理栄養士との連携深める）	
マイクロバスを利用し、お花見や紅葉狩りを実施した。	

評価概要
管理運営については、大きな問題もなく適切に行われていると考えられる。計画にあげている地域交流事業だけでなく、企業とのタイアップを図り利用者とともに職員も知識の向上に努めている。また、内部研修の開催や外部研修への参加が多く、より良いサービスを提供しようとする意識が伝わる。競争率が激しい地域の中で、いかに利用者を増やしていくかが課題である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	サニー・ランド湖南
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 71	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	28,195 千円	(前年度比)	(5,253 千円)
利用者数	49,409 人	(前年度比)	(536 人)

サービス向上対策	
内容	新規
祝日8日間、年末年始3日間を臨時開館とした。	
菖蒲湯、カリン湯、リンゴ湯を実施した。	
地域のイベントの賞品として、入浴無料券を配布。	

評価概要
管理運営については、特に大きな問題もなく適切に行われている。また、祝日や年末年始を臨時開館したり、地域のイベントに協力したりとサービス向上に努めている。 今後も利用者のニーズに合わせたサービスを提供することや観光地の中心施設となるようPRの強化を図り、新規利用者の獲得に力を入れていく必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	老人福祉センター寿楽荘
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 69	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	14,375 千円	(前年度比)	(△ 365 千円)
利用者数	8,663 人	(前年度比)	(△ 788 人)

サービス向上対策	
内容	新規
初めての利用者へ施設温泉のかけ流しや温泉成分・効能について説明しリピーターの確保に努めた。	
指圧鍼灸接骨院の協力を得て、利用者に腰痛等の改善指導と実践を行った。	
郡山北警察署の協力を得て、交通事故や振り込め詐欺に遭わないよう講話を開催した。	

評価概要
<p>管理運営については、特に大きな問題もなく適切に行われている。また、季節を感じられる温泉の提供や、計画に沿った講座を行い利用者獲得に努めている。</p> <p>しかし、年々利用者は減る一方であるため、新規利用者やリピーターを増やすため温泉かけ流しであることをPRしているが、利用者のニーズを聞き運営に反映させる等更なる工夫が必要である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	高齢者文化休養センター逢瀬荘
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 78	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	63,745 千円	(前年度比)	(15,000 千円)
利用者数	38,115 人	(前年度比)	(2,034 人)

サービス向上対策	
内容	新規
昼食のメニューにカレーライスを加えた。	○
夕飯提供時刻を予め聞き取りすることにより、希望時間に温かい食事を提供するようにした。	
一部の通路壁をサークル活動や個人等の写真展示の場として提供した。	

評価概要
利用者目線での細やかなサービスの提供、地域イベントへの参加や広報等で施設のPR等により利用者の獲得に努めている。食事を提供する施設、宿泊施設であるため利用者の安全衛生により配慮し運営している。 近年は利用者が増加傾向にあり、様々な要望があると考えられるが、対応すべきこととお客様に理解していただくことを区別しながら、利用者の満足度向上に努めていくことが必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	西田地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 80	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	14,286 千円	(前年度比)	(1,813 千円)
利用者数	17,329 人	(前年度比)	(419 人)

サービス向上対策	
内容	新規
トーナメント戦の将棋大会やクリスマス会等新規のイベントを開催した。	○
交通安全教室を開催した。	
ラベンダー湯、カリン湯、リンゴ湯を実施した。	

評価概要
<p>施設の管理運営等についても法令等に遵守し適正な執行が図られている。利用者同士の交流を図ることを目的として新規事業を行った効果もあり、昨年度より利用者数が伸びている。</p> <p>その一方で職員が2人のみのため、1人で業務を行っているときの危機管理体制を強化する等の対策が必要である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	三穂田地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 77	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	11,097 千円	(前年度比)	(435 千円)
利用者数	6,653 人	(前年度比)	(△ 1 人)

サービス向上対策	
内容	新規
施設内で、季節感のある飾りつけ利用者とともにいった。	
脱水予防、熱中症対策のためお茶の提供を行った。	
菖蒲湯、ゆず湯を実施した。	

評価概要
施設の管理運営等についても法令等に遵守し適正な執行が図られている。利用者とともに施設内の掲示物を作成したり、脱水予防や熱中症対策のため水分を提供したりと利用者との交流を図りながらサービスを提供している。 平成24年度に一度利用者は増加したものの、それ以降は減少、横ばいの状況であるため、新たな利用者確保のための工夫が必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	中田地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 79	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	10,161 千円	(前年度比)	(1,336 千円)
利用者数	11,449 人	(前年度比)	(△ 170 人)

サービス向上対策	
内容	新規
カラオケ交流会や音楽健康体操教室等新規事業を開催した。	○
蕎麦打ちと芋煮会利用者交流会を行い交流を図った。	
菖蒲湯、ラベンダー湯、リンゴ湯、ゆず湯を実施した。	

評価概要
施設の管理運営等についても法令等に遵守し適正な執行が図られている。計画に定めている地域交流事業を内容に一部変更があったものの実施し利用者同士の交流を図った。新規事業としてカラオケ交流会や音楽健康体操教室を行ったが、昨年よりも利用者は減少している。 各事業開催前には、ポスターを作成し掲示しているが館内のみでの広報にとどまっているので、館外でも広報できるように地域との連携を深めていくことが課題である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	喜久田地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 76	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	7,424 千円	(前年度比)	(880 千円)
利用者数	13,341 人	(前年度比)	(△ 158 人)

サービス向上対策	
内容	新規
菖蒲湯、ハーブ湯、ヒノキ湯、カリン湯、ゆず湯、リンゴ湯、みかん湯を実施した。	
教養講座「日本の民謡」「やさしい太極拳」を開催した。	
新茶の提供を行った。	

評価概要
大きな問題もなく適切な管理運営をしている。季節に合わせた入浴が楽しめるよう菖蒲湯やみかん湯など工夫して営業した。入浴者数、教養講座参加者数どちらも計画人数を超えたが、近年の利用者数は減少傾向にある。貸館を行っていない施設だが、行政センターと公民館との複合施設であることを強みとして利用者獲得に力を入れていく必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	日和田地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
	79	A

H26実績			
指定管理料	7,596 千円	(前年度比)	(947 千円)
利用者数	26,377 人	(前年度比)	(1,346 人)

サービス向上対策	
内容	新規
菖蒲湯、ハーブ湯、ヒノキ湯、カリン湯、ゆず湯、リンゴ湯を実施した。	
教養講座「日本の民謡」「やさしい太極拳」を開催した。	
津軽三味線の鑑賞を行った。	

評価概要
<p>施設の管理運営については、法令等に遵守して行われたと考えられる。入浴者数、貸館利用者数、教養講座参加者数全て計画を超える方が利用し、また、昨年度よりも約1割増しで利用者が増えている。他の地域交流センターと比べると貸館利用件数が多く、老人だけでなく一般の方も施設を利用している。</p> <p>隣には保育所があることや、行政センターとの複合施設となっていることを強みに新たな事業を取り入れていくことが必要である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市希望ヶ丘児童センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 76	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	20,297 千円	(前年度比)	(△ 666 千円)
利用者数	14,766 人	(前年度比)	(608 人)

サービス向上対策	
内容	新規
新規事業として「星空観察会」「月食観察会」を実施した。	○
新規事業として「れもん座 人形劇」を実施した。	○
新規事業として「雪遊び体験」を実施した。	○

評価概要
<p>センターまつりやもちつき大会等の地域住民が参加できる事業を行うことで、地域コミュニティの向上を図り、地域に開かれた児童館として運営がなされた。PR活動や施設の維持管理については、事業計画書通りの実施がなされ、問題点は無かった。また、避難訓練については、改善を行い、27年度には問題なく行っている。</p> <p>サービス向上として、新規事業を積極的に行い、利用者は前年より608人増加したが、指定管理者制度導入前と比較すると減少しているため、今後も多くの利用者が来てもらえるように、新規事業やイベントを行う必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市母子生活支援施設ひまわり荘
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	社会福祉法人 郡山市社会福祉事業団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 75	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	23,827 千円	(前年度比)	(1,324 千円)
利用者数	25 人	(前年度比)	(△ 4 人)

サービス向上対策	
内容	新規
個別の自立支援計画表を策定し、求人情報等の提供や就労支援を行った。	
公営住宅の入居募集情報を提供し、自立支援の推進を図った。	
行事の内容・日時については、入所者の懇談会での意見をもとに決めている。	

評価概要
<p>母子生活支援施設は、主に経済的な理由により支援が必要な母子家庭を対象とし、施設職員が様々な相談・指導を行いながらその自立を支援する児童福祉施設である。</p> <p>施設の運営管理については、協定書や仕様書に基づいて緊急時対策や個人情報管理等が適正に行なわれており、入所者からの苦情や意見・要望についても話し合いの場を持ち、改善策を見つけて対応している。</p> <p>今後の課題としては、自立支援計画の見直しを適宜に行いながら、より一層の入所者の自立支援を図っていくことが必要である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山ユラックス熱海
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	ゼビオ株式会社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 76	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	145,851 千円	(前年度比)	(330 千円)
利用者数	337,744 人	(前年度比)	(20,403 人)

サービス向上対策	
内容	新規
多目的ホールのスポーツ利用促進を図るため無料開放を実施し、施設の有効活用及び市民サービス向上を図った。	○
SNSを活用して広く情報の発信を行い施設の有効活用を図った。	○
健康温泉、温水プールのシャワーヘッド及び蛇口を節水効果の高いものと交換するなど細やかな修繕を行い、省エネや市民サービスの向上を図った。	○

評価概要
<p>利用料金収入は前年度から横ばいであるものの、指定管理者が変更となった初年度から積極的な事業展開ときめ細やかな施設管理により利用者数は前年を上回っており、施設の有効活用が図られている。また、平等利用の確保、法令順守、危機管理体制の充実といった利用者の安全・安心の確保及び施設の安定した運用に努めている。今後は、民間事業者の利点を活かした事業展開によりさらなる市民サービスの向上が図られることを期待する。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	磐梯熱海スポーツパーク
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	ゼビオ株式会社 (H27.10.1～ ゼビオホールディングス株式会社)
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保 (使用許可、使用料減免の状況等)		
II. 施設の効用の最大限の発揮 (PR活動、サービス向上の取組、維持管理等)		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保 (研修体制、経営の効率化等)		
IV. その他事項 (法令順守、危機管理等)		
S (90点～100点) 「標準をはるかに上回る」 A (75点～90点) 「標準より良好」 B (60点～74点) 「適正 (標準)」 C (45点～59点) 「要指導」 D (44点以下) 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 72	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	85,700 千円	(前年度比)	(△ 2,437 千円)
利用者数	65,772 人	(前年度比)	(11,002 人)

サービス向上対策	
内容	新規
ホームページを新たに作成し、イベント等の多くの情報発信に努めた。	○
個人情報保護に関して、民間企業のノウハウを生かし管理体制を整えた。	○
独自のアンケートを導入し、市民のニーズ把握に努めた。	○

評価概要
<p>Facebook等のSNSを活用し、イベントや大会の情報をタイムリーに発信し、利用者の利便性向上と施設のPRを図っている。</p> <p>事業に関しては、磐梯熱海の地域団体と連携し施設をPRするなど、地域の利点を最大に生かし、利用者の確保に取り組んでいる。</p> <p>また、利用者アンケートの内容から、サービス向上のため職員の待遇などに力を入れていることが伺える。安定した管理運営を行うため経営の効率化を進めるなど、財政の健全化が当面の課題である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	青少年会館
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	学校法人 新潟総合学院
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 74	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	41,835 千円	(前年度比)	(3,169 千円)
利用者数	28,985 人	(前年度比)	(1,775 人)

サービス向上対策	
内 容	新規
ホームページやSNS（フェイスブック）を通じて対外的な情報発信を強化し、施設の認知向上を図った。	○
利用者アンケート回収ボックスを常設し、利用者からのニーズに応じた業務推進を行った。	○
学校の長期休暇期間に合わせて休館日の開館を実施し、稼働率の向上を図った。	

評価概要
<p>事業計画書・仕様書に対する達成度は、全体的に標準である。</p> <p>サービス向上に向けた取り組みとして、広報活動においては、ホームページやSNSを活用した情報発信の強化が図られ、アンケートにおいても、各宿泊部屋の常時設置、自主事業時における実施を通じ、ニーズ把握に努めている。</p> <p>事業においては、日程が年末から年度末に集中し計画通りに実施できなかったことから参加者数及び事業収入において減少となっているため、今後計画的な実施が必要と思われるが、貸館に係る人数及び収入は増加しているため、稼働率の点からは問題ない状況となっている。</p> <p>管理運営面において、貸館に係る使用許可や免除申請許可の処理は適正に処理されているが、維持管理業務委託に係る検査関係書類等が未整備であった。また、研修記録や苦情対応記録など、事後的な記録関係書類も未整備であったことから、これら内部の管理書類については更に整備を図り、より適正な管理運営に努める必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	西部地区体育施設
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	学校法人新潟総合学院
指定期間	平成26年4月1日から平成30年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 70	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	54,732 千円	(前年度比)	(5,146 千円)
利用者数	128,733 人	(前年度比)	(33,436 人)

サービス向上対策	
内 容	新規
ホームページを新たに作成し、イベント等の多くの情報発信に努めた。	○
Facebookを活用し、スポーツ大会や教室等の情報を発信し、利用者拡大に努めた。	○
プロスポーツと連携したスポーツ教室等を開催し、利用者拡大に努めた。	○

評価概要
<p>使用事務に関して、マニュアルを作成し職員各々に配布され、施設全体で市民の平等な利用確保に努めている。</p> <p>さらに事業に関しては、プロスポーツ団体等と連携しスポーツ教室を開催するなど、民間企業としての利点を最大に生かし、利用者の確保に取り組んでいる。</p> <p>また、Facebook等のSNSを活用し、イベントや大会の情報をタイムリーに発信し、利用者の利便性向上と施設のPRを図っている。</p> <p>安定した管理運営を行うため経営の効率化を進めるなど、財政の健全化が当面の課題である。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	大槻公園
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	学校法人新潟総合学院
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 86	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	18,252 千円	(前年度比)	(647 千円)
利用者数	55,325 人	(前年度比)	(12,374 人)

サービス向上対策	
内容	新規
園内の倒木等を製材して階段補修や手すりを設置し、歩行者の安全を図った。	
公園内の草刈りを実施し、散策者の快適性向上を図った。	
報道機関やタウン誌、ダイレクトメール等を利用した施設PRと事業周知を図った。	

評価概要
ウェブサイトやブログを頻繁に更新、迅速な情報発信に努め、報道機関やタウン誌、ダイレクトメール等を利用した施設PRと事業周知に努め、積極的に利用者増加に努める姿勢が見受けられた。事故の発生時も迅速に対応し、再発防止の対策を実施している。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	高篠山森林公園
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市森林組合
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 80	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	21,985 千円	(前年度比)	(3,714 千円)
利用者数	17,169 人	(前年度比)	(2,128 人)

サービス向上対策	
内容	新規
管理事務所のホールにイベント開催写真を掲載し、公園のPRを図った。	○
要望に応じて受託事務を実施し、来園者以外の市民にも公園のPRを図った。	○

評価概要
定期的な職員ミーティングの開催により、職員相互に情報共有が図られており、安定した施設管理がなされている。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	東部森林公園・金沢農村公園
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	郡山市森林組合
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 81	総合評価 (S, A, B, C, D) A

H26実績			
指定管理料	18,409 千円	(前年度比)	(千円)
利用者数	10,792 人	(前年度比)	(3,232 人)

サービス向上対策	
内容	新規
新規に公園独自のホームページを作成し、公園のPRと利用者の利便性の向上を図った。	○
管理事務所のオープンテラスに園内の花木の写真と解説を掲載し、利用者の利便性の向上を図った。	○
直営管理時には開催していなかった様々なイベントを開催し、来園者の増加に繋がった。	○

評価概要
定期的な職員ミーティングの開催により、職員相互に情報共有が図られており、安定した施設管理がなされている。また、指定管理者制度導入により、直営時よりも利用者の増加に繋がっている。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	田村地域交流センター
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	田村地域交流センター管理運営組合
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
	72	B

H26実績			
指定管理料	5,614 千円	(前年度比)	(516 千円)
利用者数	10,972 人	(前年度比)	(△ 1,625 人)

サービス向上対策	
内容	新規
菖蒲湯、ゆず湯を実施した。	
利用者の集いを行い交流を図った。	○
健康教室、AED・人工呼吸法の講習会を行った。	

評価概要
市内の方や市外の方に関係なく平等なサービスの提供を行っていることや土地的な要因から、他の地域交流センターと比べ市外利用者が多く、入浴による収入も多い。 また、地域の管理運営組合が運営しているため、地域とのつながりが深い施設ではあるが、書類の管理等において改善が必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—

平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	農村生活中核施設黒石荘
施設区分	a. 福祉施設等（福祉施設等、地域の小規模施設）
指定管理者	農村生活中核施設管理運営組合
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点）「標準より良好」 B（60点～74点）「適正（標準）」 C（45点～59点）「要指導」 D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点) 72	総合評価 (S, A, B, C, D) B

H26実績			
指定管理料	830 千円	(前年度比)	(145 千円)
利用者数	8,189 人	(前年度比)	(4,767 人)

サービス向上対策	
内容	新規
市民が平等に利用できるよう貸館業務を行った。	
施設を長持ちさせるため修繕箇所等を早期に発見するなどの施設管理を行った。	

評価概要
法定点検や指定管理料の支出、使用許可の実施等は適正に実施されており、また、サービス向上に向けた町内会内での話し合いなどもみられるが、一方、市への報告の遅れ、一部清掃等が行き届いていないなど問題点が見られ、継続した指導が必要である。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
B	—	—	—	—